

自主性を育む地域活動 のつくり方ワークショップ

ワークショップ まずは体験してみよう!!

「私は」こんな体験だった。あの瞬間が好き、
この場面はどきり、、、など感想をどうぞ♪

今日をご参加くださってありがとうございます。
わたしはワークショップが大好きです。
みなさんと「場づくり」の面白さを
分かち合えたら嬉しいです。



「チームは」こんな感じだった。こんな風に変化した。お気づきなコトをメモしてください♪

ワークショップとは? 参加者が主役の体験する場、集い語り合いつながらる時間

ファシリテーターとは? 進行役、場を促進する、話し合いや創造を楽しく容易に運ぶべく参加者の変化を見つめ、進め方を「今、ここ」に合わせる。場・参加者・プロセスを信頼している。参加者を尊重し、おこることに肯定的である。自分も楽しむ。

グランドルール(提案) 「がんばらない」「ふつうにやる」「相手にいい時間を渡す」
「自分の創造力(想像力)に責任を持たない」

ワークショップ体験の組み立て～ファシリテーターの道具箱

- ▽ **呼ばれたい名前をつける**---ランクや従来との関係性から自由になり、全員がフラットな関係で出会うために。
- ▽ **アイスブレイク**---「氷を溶かす」ただ情報としての自己紹介ではなく、人となりを紹介して親近感がわいたり、簡単なゲームを通して楽しむことで、仲良くなるのを促進する。
- ▽ **チェックイン**---はじまりに全員の声を聴く。自己紹介にとどまらず、ひとことでも、この場への期待や一人ひとりのユニークな人となりがわかるような内容で回すと、その後の話し合いが豊かになる。
- ▽ **ワークの組み立て**---場の目的、参加者人数、参加者の傾向、会場レイアウト(立ってプレイする場があるか、テーブルワークか、等)そして、参加者の距離感などを想定しつつ menu を「段階的に」組み立てる。ただ、当日その場の様子(参加者からの言葉 & 言葉以外のフィードバック)によって、変更していく。
- ▽ **参加者のフィードバック・共有**---ワークの途中、または最後に、これまでのプロセスを共有する。「みんなから」発見、意見、感想などを語り合う。場が深まり、想いや感情、違和感なども話せると豊か。また、体験・感覚的な時間のあとに、言語化することも大切。
- ▽ **タイムマネジメント**---気持ちよく集中してもらうため、進行役のほうで時間管理をする。参加者の様子を見ながら「あと何分です」と促す。「あと1分ですが、延長希望はありますか？」など、参加者と対話しながら進めると参加者が主体であることが伝わりやすい。また、場に明らかにランクがあり、一人の方が仕切ってしまうときなどは、尊重しつつ勇気をもって「長く話している」事実を伝えて切る。
- ▽ **プッシュとプル**---参加者が新しい体験・関係性へ飛び込めるよう背を押す(またはタイムアップをかける)こともあるが、全体のなかで一人でもやりにくい方がいればスローにしたり、課題が見つかって留まることもある。全体の流れと、個人、両方を大切にしたい。
- ▽ **チェックアウト**---今日この場の体験を共有してクロージングする。ファシリテーターからすると、ワークショップへの貴重なフィードバックであり、一人ひとりのチェックインからの変化を感じることができる。

地域というコミュニティで～「ディープ・デモクラシー」をヒントに

- ・ それぞれの立場(ロール)をみつけよう、それぞれの声を聴こう
- ・ ホット、コールド、場の変化をキャッチし、言葉にしよう

大学×地域 コーディネーター

ファシリテーションで輪をつくり、センターを学生のベースキャンプに

一橋大学 まちづくり

NPO くになち富士見台 人間環境キーステーション

<http://www.human-environment.com/>

立教大学 東日本大震災復興支援

法政大学 多摩地域交流センター

<http://hucc.hosei.ac.jp/>

- 別紙——八王子市寺田、館ヶ丘、相模原市城山、藤野、町田市相原、東北、各地で継続的・日常的に活動する学生たち
- 地域と学生の WIN-WIN とは？
- 学生の(地域の)主体的な活動を育む土壌とは？

本野 直子

おきなお子の旧姓で「街劇団 えんがわカンパニー」を主宰。

<http://engawacompany.wixsite.com/engawa>

街のなかで上演する“まちなか演劇”をはじめとし、コミュニティの歴史や

神話をインタビューやフィールドワークから紡ぐ作品を創作している。

また、ファシリテーターとして、地域・教員・社会人・教育現場などで

ワークショップを開き、「場づくり」、活動のきっかけづくり等をうけおっている。

得意なワークショップは、だれでもできるインプロ演劇。

▽何か、お仕事、ご相談ありましたら ▶ naokoko.engawa@gmail.com

または、facebook ▶ [oki naoko](#)

